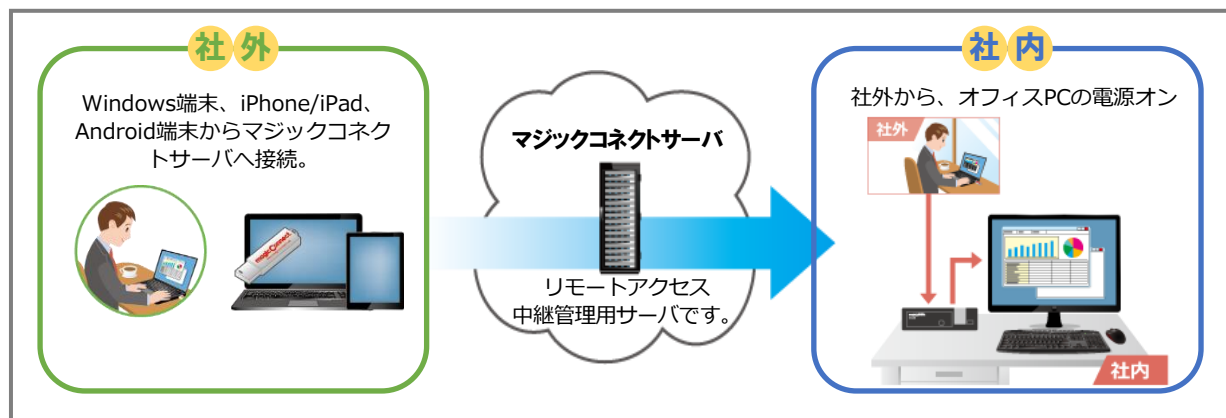


はじめに

WOLコントローラ「MC3000」は、社外から社内にあるオフィスPCの電源を遠隔で投入できる、マジックコネク専用アプライアンスです。

本書はお手元にMC3000が届いた後、**MC3000管理者**が実施する作業について説明します。



🔧 ご利用までの流れ

1	はじめに	P. 1
⇓			
2	グループ化の設定	P. 3
⇓			
3	MC3000の設置	P.13
⇓			
4	MC3000の本体設定	P.15
⇓			
5	MC3000に利用者を登録する	P.24
⇓			
6	MC3000 Windowsユーザーの パスワード変更	P.29
⇓			
	付録	P.32

MC3000をセットアップする前に、以下の物品が準備されていることを確認します。

🔧 NTTテクノクロスから納品された物品一覧

物品	説明
MC3000	MC3000筐体、ACアダプタ、電源ケーブルのセットです。
MC3000専用USBメモリ	本体に同梱されているMC3000専用USBメモリです。
MC3000納品明細書	MC3000の設定情報やWindows OSサインイン情報が印刷された書類です。
ユーザアカウント一覧表	以下の情報が一覧として印刷された書類です。 <input type="checkbox"/> サーバ情報(従来モデルのみ) <input type="checkbox"/> アカウント(ユーザ名) <input type="checkbox"/> パスワード

🔧 お客様にご用意いただく物品一覧

物品	説明
LANケーブル	MC3000に接続するための、LANケーブル(Cat5e,Cat6)です。
ディスプレイ式	MC3000に接続するための、ディスプレイです。 DisplayPort/HDMI/VGAいずれかで接続が可能なディスプレイをご用意ください。
キーボード	MC3000に接続するための、USBキーボードです。
マウス	MC3000に接続するための、USBマウスです。



ワンポイント

MC3000専用USBメモリを使用する前にPCに接続し、格納されているデータをバックアップしてください。



ワンポイント

セットアップ完了後は、ディスプレイ、キーボード、マウスを取り外して運用可能です。

グループ化の設定

MC3000を利用するために、利用者のアカウントとMC3000のアカウントのグループ化をします。

「マジックコネクト・ネオ」と「マジックコネクト 従来モデル」でグループ化のための管理画面が異なります。ご契約内容に対応する手順をご確認ください。



ワンポイント

「マジックコネクト・ネオ」の場合、アカウント一覧表に次のロゴが記載されています。



マジックコネクト・ネオ

..... P. 4

マジックコネクト 従来モデル

..... P. 9

【マジックコネクト・ネオ】グループ化の設定

MC3000を利用するために、
利用者のアカウントとMC3000の
アカウントのグループ化をします。

設定内容

1. 管理機能にログイン P. 4
2. グループ化をする P. 6

1. 管理機能にログイン

Step1 マジックコネクトホームページ(<https://www.magicconnect.net/>)
より、「管理機能」をクリックします。

<https://www.magicconnect.net/support/tool/support-access.php?id=mcneo>
をクリックして直接アクセスも可能です。



Step2 「マジックコネクト・ネオ」の「ログインはこちら」をクリック
します。



Step3

「ユーザアカウント一覧表」の「■管理者アカウント／初期パスワード(※1)」行に記載されている、「管理者用アカウント」を「ユーザ名」欄、「初期パスワード」を「パスワード」欄に入らし、「ログイン」をクリックします。



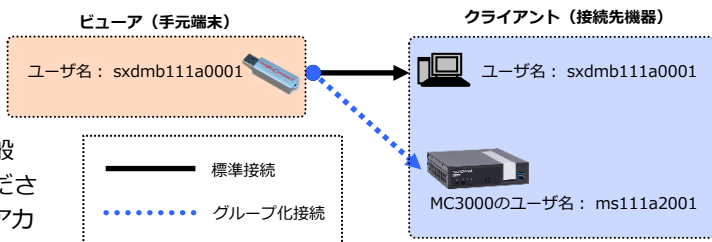
Step4

「アカウント管理者向け管理機能」画面から「グループ化接続構成」をクリックします。



2. グループ化をする

MC3000のアカウントをユーザ名 [ms111a2001]、利用者が使用するアカウントをユーザ名 [sxdmb111a0001] として接続例を説明します。
 (実際の設定では「ユーザアカウント一覧表」の「一般ユーザ」欄に記載されているユーザ名に読み替えてください。MC3000のアカウントのタイプは「対象機器専用アカウント」です。)



Step 1

「ユーザ名」列からMC3000の対象機器専用アカウント「ms111a2001」を選択します。

ユーザ名	ビュアが接続できるクライアント一覧	
sxdmb111a0001	sxdmb111a0002 sxdmb111a0003	
sxdmb111a0002		sxd
sxdmb111a0003		sxd
ms111a2001		



ワンポイント

ユーザが大量にある場合、検索で絞り込むこともできます。

グループ化接続構成一覧を表示しています。 CSV一括操作

検索

クライアント一覧	クライアントに接続できるビュア一覧
	sxdmb111a0001

Step 2

「接続元ビュアを追加」を選択します。

一般ユーザms111a2001のグループ化接続構成を表示しています。

クライアントに接続できるビュア

クライアント

ms111a2001

接続元ビュアを追加

Step3 接続元として追加する「sxdmb111a0001」を選択し、「追加」をクリックします。



ワンポイント

ユーザが大量にある場合、検索で絞り込むこともできます。

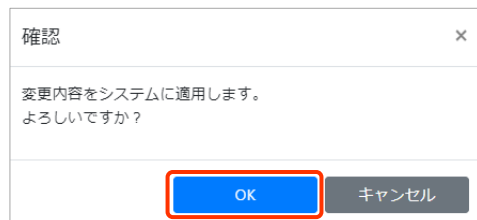
Step4 「sxdmb111a0001」の横に表記されている○マークをクリックします。



マークが○から⊕に変化し、緑色の接続線が表示されます。また、画面上部にメッセージ「グループ化接続構成の変更が行われています。」が表示されます。

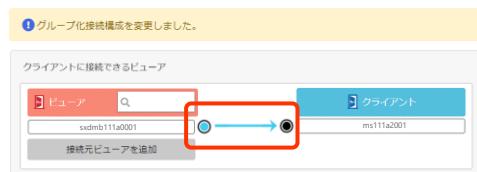
注意 この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

Step5 「変更内容をシステムに反映」をクリックします。

Step6 [OK]を選択します。



マークが  から  に変化し、青色の接続線が表示されます。また、画面上部にメッセージ「グループ化接続構成を変更しました。」が表示されます。



以上で【マジックコネクト・ネオ】グループ化の設定は完了です。

END

 続いて P.13 **MC3000の設置** へお進みください。

【マジックコネクト 従来モデル】グループ化の設定

MC3000を利用するために、
利用者のアカウントとMC3000の
アカウントのグループ化をします。

設定内容

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 管理機能にログイン | P. 9 |
| 2. グループ化をする | P.11 |

1. 管理機能にログイン

Step 1 マジックコネクトホームページ(<https://www.magicconnect.net/>)
より、「管理機能」をクリックします。

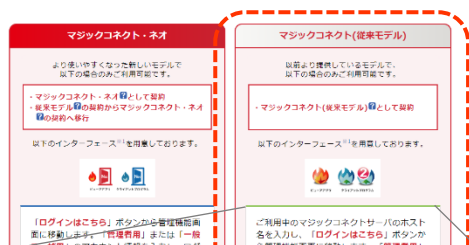


<https://www.magicconnect.net/support/tool/support-access.php?id=mc>
をクリックして直接アクセスも可能です。

Step 2 「マジックコネクト（従来モデル）」
「サーバ」欄にサーバのホスト部分を入力し、「ログインはこちら」
をクリックします。

サーバ情報は「ユーザアカウント一覧表」に記載されています。

例えば、サーバ情報が
「asp1.magicconnect.net」の場合は「asp1」
「fuji.magicconnect.net」の場合は「fuji」
と入力します。



ご利用中のマジックコネクトサーバのホスト
名を入力し、「ログインはこちら」ボタンか
ら管理機能画面に移動します。「管理者用」
または「一般ユーザ用」のアカウント情報
を入力し、ログインしてください。

サーバ **例** asp1.magicconnect.net

＼マジックコネクト(従来モデル)管理
機能へ／

ログインはこちら



Step3

「ユーザアカウント一覧表」の「■管理者アカウント／初期パスワード(※1)」行に記載されている、「管理者用アカウント」を「ユーザ名」欄、「初期パスワード」を「パスワード」欄に入力し、「ログイン」をクリックします。

ユーザ認証

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

契約ID : 000000

MagicConnect ユーザアカウント一覧表

■ユーザ情報			
追加日時	Web	***.magicconnect.net	ポート : 443
修正日時	Mac	***.magicconnect.net-443	
インストール日時	OS	***.magicconnect.net	
インストール場所	Android		

■管理者用アカウント ※管理者用は機能を利用する際に必要です。なお、このアカウントはマジックコネクトリモートアクセスには利用できません。

管理者用アカウント	初期パスワード
-----------	---------

[管理者用アカウント] [初期パスワード]

Step4

「アカウント管理用メニュー」から「グループ化」をクリックします。

メニュー

ようこそ **account_admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[ユーザ管理](#)

[グループ化](#)

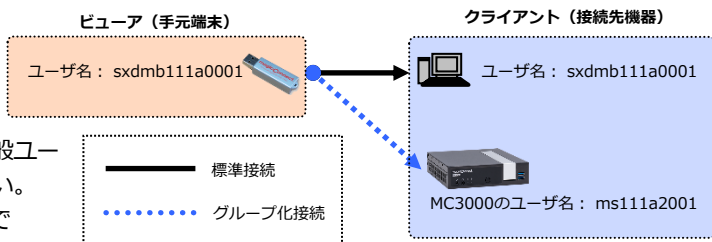
[セキュリティ](#)

[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

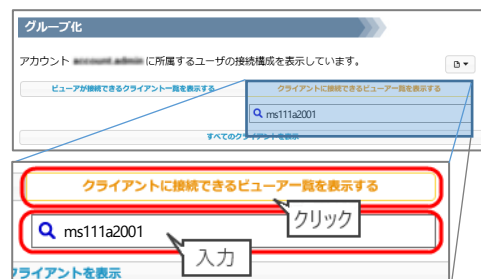
2. グループ化をする

MC3000のアカウントをユーザ名 [ms111a2001]、利用者が使用するアカウントをユーザ名 [sxdmb111a0001] として接続例を説明します。
 (実際の設定では「ユーザアカウント一覧表」の「一般ユーザ」欄に記載されているユーザ名に読み替えてください。MC3000のアカウントは「対象機器専用アカウント」です。)

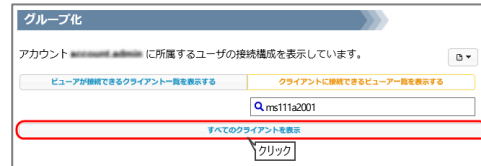


Step 1 「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」をクリックします

直下のテキストボックスに、MC3000の対象機器専用アカウント (ms111a2001) を入力し、クリックします。



Step 2 「すべてのクライアントを表示」をクリックします。



Step 3 「すべてのビューアを表示」をクリックします。



Step 4 MC3000の対象機器専用アカウントへ接続可能な全アカウントが表示されます。



Step5 ビューアのアカウント横に表記されている○マークをクリックします。

○マークが変化して、「青」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

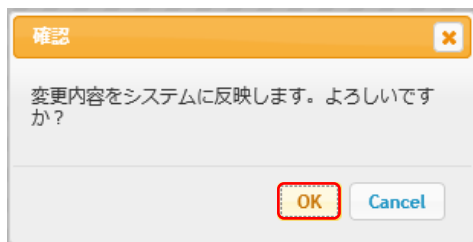
注意 この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。



Step6 「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。



Step7 [OK]をクリックします。



Step8 指定したビューアのアカウントから、MC3000の対象機器専用アカウントへ接続可能となった構成が表示されます。



ワンポイント

下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネクトサーバへ反映されていません。主な原因として、タイムアウト(管理画面にログオンしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、「1. 管理機能にログイン」の Step3 からやり直してください。

注意 グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

以上で【マジックコネクト 従来モデル】のグループ化の設定は完了です。

END

MC3000の設置

MC3000を利用場所に設置します。

設定内容

1. MC3000の設置 P.13

1. MC3000の設置

Step1 MC3000の背面左上のUSBポートに、MC3000専用USBメモリを接続します。



ワンポイント

セットアップ完了後も、MC3000専用USBメモリを常時接続した状態で運用してください。



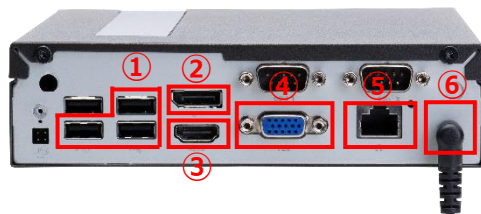
注意 【USBメモリの逆向き接続】

USBメモリの上下を逆に接続すると、USBメモリ内部のピンが破損し、認識されなくなります。必ず右の写真の向きで接続してください。



Step2

MC3000にキーボード、マウス、ディスプレイ、LANケーブル、ACアダプタを接続します。



①	USB2.0ポート×3	USBマウス、USBキーボードを挿します。
②	DisplayPort端子 (※1)	DisplayPortケーブルを挿します。
③	HDMI端子 (※1)	HDMIケーブルを挿します。
④	アナログRGB D-Sub15端子 (※1)	アナログRGB D-Sub15ケーブル (VGA) を挿します。
⑤	LANポート	LANケーブルを挿します。
⑥	ACアダプタ差込口	付属品「ACアダプタ」を挿します。

(※1) ディスプレイのコネクタは、「DisplayPort」, 「HDMI」, 「アナログRGB D-Sub15 (VGA)」の3種類があります。お持ちの端子に合った箇所に挿してください。



ワンポイント

セットアップ完了後は、ディスプレイ、キーボード、マウスを取り外して運用可能です。

MC3000の本体設定

MC3000のマジックコネクトクライアントを設定し、マジックコネクトサーバへ接続させます。

「マジックコネクト・ネオ」と「マジックコネクト 従来モデル」でマジックコネクトクライアントのアイコンと画面が異なります。ご契約内容に対応する手順をご確認ください。



ワンポイント

「マジックコネクト・ネオ」の場合、アカウント一覧表に次のロゴが記載されています。



マジックコネクト・ネオ

P.16

マジックコネクト 従来モデル

P.20

【マジックコネクト・ネオ】MC3000の本体設定

MC3000のマジックコネクトクライアントを設定し、マジックコネクトサーバへ接続させます。

設定内容

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. MC3000にサインインする | P.16 |
| 2. マジックコネクトクライアント設定 | P.17 |

1. MC3000にサインインする

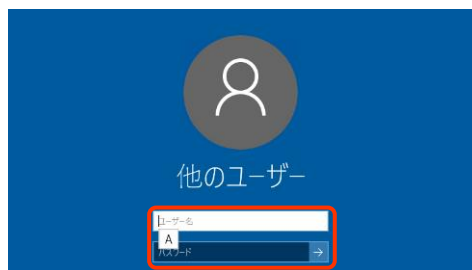
Step1 ACアダプタを電源コンセントに挿します。自動的に起動し、前面パネルの電源ランプが青に変わります。

電源ランプが青にならない場合、「電源ボタン」を押します。



Step2 OS起動後、サインイン画面が表示されます。「ユーザー名」欄「パスワード」欄に「MC3000管理者」のアカウント情報を入力し、Enterキーを押します。

アカウント情報は「MC3000 納品明細書」→「■MC3000データ」に記載されている「MC3000管理者」のユーザ名とパスワードを入力します。



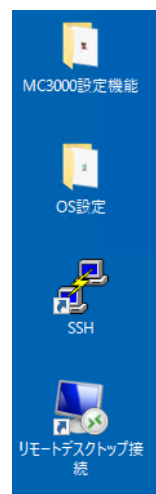
WakeOnLANコントローラ MC3000 納品明細書

■MC3000データ		ユーザ名 / パスワード
利用者区分	登録数	
MC3000管理者	1	admin / admin
踏み台利用者	1	jump / admin
再起動管理者	1	reboot / admin

※MC3000本体のネットワーク設定は、お客様ご指定の内容に設定済みです。

Step3 サインイン後、デスクトップに以下4点のアイコンが表示されている事を確認します。

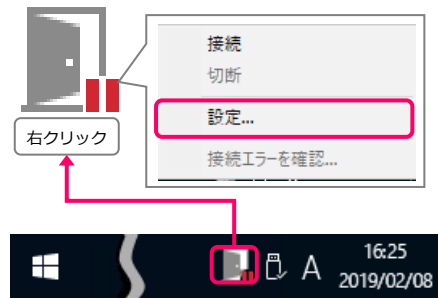
- ①MC3000設定機能
- ②OS設定
- ③SSH
- ④リモートデスクトップ接続



2. マジックコネクトクライアント設定

Step 1

機器の画面右下にある通知領域に表示されているグレーのマジックコネクトアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」をクリックします。



ワンポイント

【アイコンが炎マークの場合】

Ver8.1r1より前のバージョンでは右記の炎マークのアイコンです。

導入時期によってはこちらのアイコンのバージョンをご利用中の場合があります。その場合、以降の手順中のアイコン表記を読み替えてください。あるいは、アプリのアップデートによりドアのアイコンへ変更できます。詳しくは下記をよくあるご質問をご覧ください。

- マジックコネクト・ネオのアイコンが途中から変わっています。



Step 2

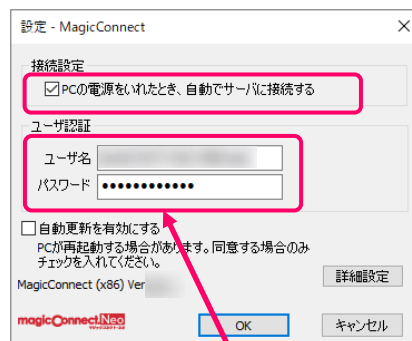
「PCの電源をいれたとき、自動でサーバに接続する」にチェックを入れます。

MC3000用アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

- ※ 「グループ化の設定」でグループ化接続先として指定したユーザ名です。
- ※ ユーザ名とパスワードは、「アカウント一覧表」に記載されています。



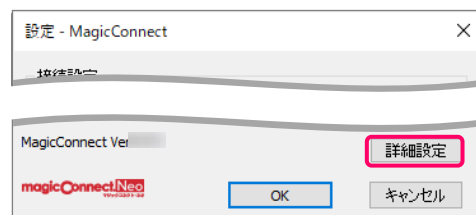
注意 「自動更新を有効にする」は必ずOFFのままにしてください。MC3000はプログラムの自動アップデートに対応していないため、意図しない誤動作の原因になる可能性があります。



アカウント種類	USB接続番号(1)	タイプ	アカウント (ユーザ名)	初期パスワード
対象機器専用		対象機器専用	[ユーザ名]	[初期パスワード]

Step 3

設定画面右下の「詳細設定」をクリックします。



Step4

下記ワンポイントの条件に合致する場合、詳細設定画面に設定し、「OK」をクリックします。
一般的な環境では、何も設定する必要はありません。変更せずに「OK」をクリックします。



ワンポイント

【インターネット接続にProxyを利用している場合】

「利用する」にチェックを入れ、利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。

【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



ワンポイント

【一覧に表示されるMC3000のホスト名を変更したい場合】

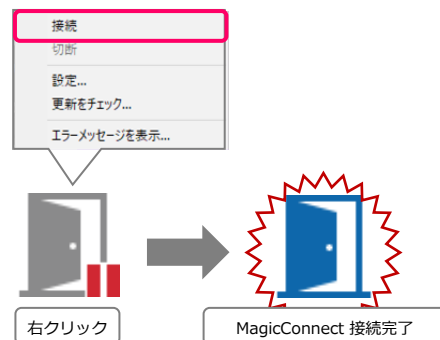
「接続先機器名」に識別可能な名前を入力します。「グループ名」の入力は任意です。

Step5

設定画面の「OK」をクリックします。

Step6

画面右下の通知領域にあるアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect 接続完了」と表示されます。
この状態で社外からマジックコネクトで接続可能となります。

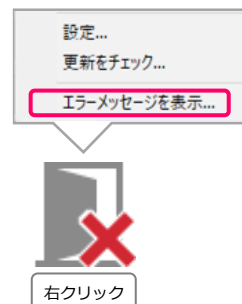


ワンポイント

【アイコンにxが表示される場合】

マジックコネクトサーバへの接続に失敗しています。
アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

お問い合わせコードの説明や対処方法については、お客様サポートページ (<https://www.magicconnect.net/support/>) の[困ったときは]の「お問い合わせコードと対処方法」をご覧ください。



以上で【マジックコネクト・ネオ】MC3000の本体設定は完了です。

END

👉 続いて P.24 **MC3000に利用者を登録する** へお進みください。

【マジックコネクト 従来モデル】MC3000の本体設定

MC3000のマジックコネクトクライアントを設定し、マジックコネクトサーバへ接続させます。

設定内容

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. MC3000にサインインする | P.20 |
| 2. マジックコネクトクライアント設定 | P.21 |

1. MC3000にサインインする

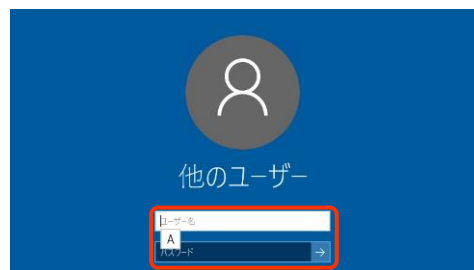
Step1 ACアダプタを電源コンセントに挿します。自動的に起動し、前面パネルの電源ランプが青に変わります。

電源ランプが青にならない場合、「電源ボタン」を押します。



Step2 OS起動後、サインイン画面が表示されます。「ユーザー名」欄「パスワード」欄に「MC3000管理者」のアカウント情報を入力し、Enterキーを押します。

アカウント情報は「MC3000 納品明細書」→「■MC3000データ」に記載されている「MC3000管理者」のユーザ名とパスワードを入力します。



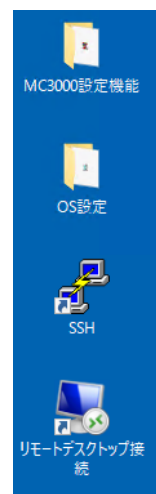
WakeOnLANコントローラ MC3000 納品明細書

■MC3000データ		
利用者区分	登録数	ユーザ名 / パスワード
MC3000管理者	1	mc3000 / mc3000
踏み台利用者	1	mc3000 / mc3000
再起動管理者	1	mc3000 / mc3000 / 非公開

※MC3000本体のネットワーク設定は、お客様ご指定の内容に設定済みです。

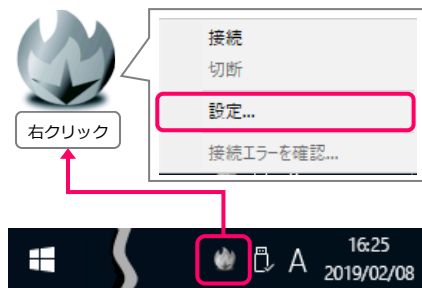
Step3 サインイン後、デスクトップに以下4点のアイコンが表示されている事を確認します。

- ① MC3000設定機能
- ② OS設定
- ③ SSH
- ④ リモートデスクトップ接続



2. マジックコネクトクライアント設定

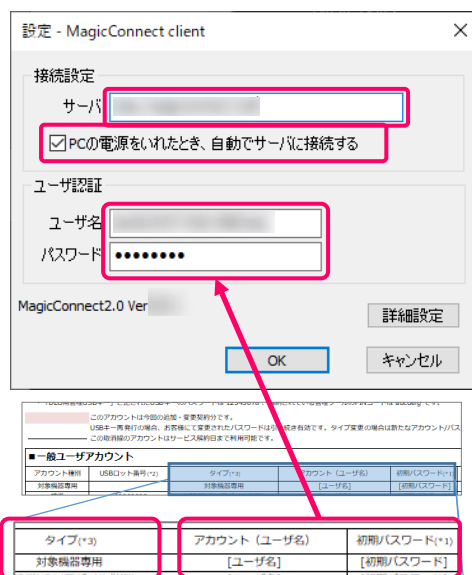
Step 1 機器の画面右下にある通知領域に表示されているグレーのマジックコネクトアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」をクリックします。



Step 2 「サーバ」に「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

「PCの電源をいれたとき、自動でサーバに接続する」にチェックを入れます。

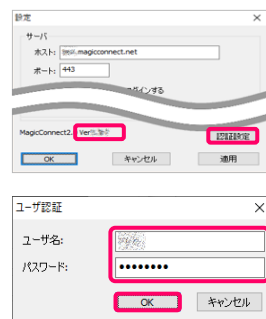
MC3000用アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。
 ※ 「グループ化の設定」でグループ化接続先として指定したユーザ名です。
 ※ ユーザ名とパスワードは、「アカウント一覧表」に記載されています。



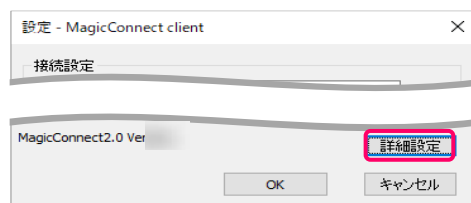
ワンポイント

【 Ver7.0より前のMagicConnect clientの場合】

ユーザ名とパスワードは、設定画面の「認証設定」をクリックして、ユーザ認証画面に入力して「OK」を押してください。



Step 3 設定画面右下の「詳細設定」をクリックします。



Step4

下記ワンポイントの条件に合致する場合、詳細設定画面に設定し、「OK」をクリックします。
一般的な環境では、何も設定する必要はありません。変更せずに「OK」をクリックします。



ワンポイント

【インターネット接続にProxyを利用している場合】

「利用する」にチェックを入れ、「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。

【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「HTTP Proxyの認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



ワンポイント

【一覧に表示されるMC3000のホスト名を変更したい場合】

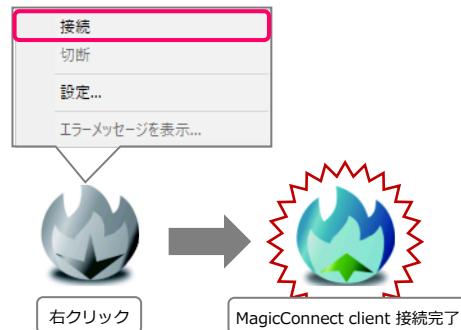
「接続先機器名」に識別可能な名前を入力します。「グループ名」の入力は任意です。

Step5

設定画面の「OK」をクリックします。

Step6

画面右下の通知領域にあるアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「MagicConnect client 接続完了」と表示されます。
この状態で社外からマジックコネクトで接続可能となります。



ワンポイント

【Ver7.0より前のMagicConnect clientの場合】

マウスカーソルをアイコンに重ねると「接続待ち」と表示されます。



接続待ち



ワンポイント

【アイコンにxが表示される場合】

マジックコネクトサーバへの接続に失敗しています。

アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

お問い合わせコードの説明や対処方法については、お客様サポートページ (<https://www.magicconnect.net/support/>) の[困ったときは]の「お問い合わせコードと対処方法」をご覧ください。



右クリック

以上で【マジックコネクト 従来モデル】MC3000の本体設定は完了です。

END

MC3000に利用者を登録する

利用者から対象機器（接続先機器）の情報を収集し、MC3000に設定して遠隔起動できるようにします。

設定内容

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. MC3000管理者から利用者へ情報の取得を依頼する | P.24 |
| 2. 対象機器(接続先機器)のWOL起動設定 | P.25 |
| 3. 遠隔起動できることを確認する | P.28 |

1. MC3000管理者から利用者へ情報の取得を依頼する

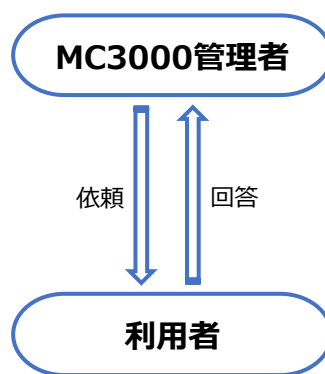
Step 1

MC3000管理者から利用者へ、以下手順書の該当項目を参照し、遠隔起動したい対象機器（接続先機器、オフィスPC）の情報を収集するよう依頼します。

「お客様サポート」ページ → 「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「[MC3000利用者マニュアル](#)」にある「2. 対象機器（接続先機器）の情報収集」

必要な情報は以下3点です。

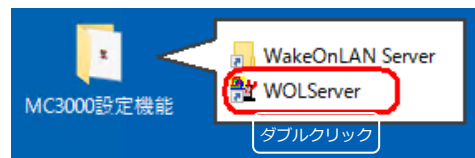
必要な対象機器の情報	データ例
MACアドレス	AA-BB-CC-DD-EE-FF 00-10-9A-5B-9E-77
IPアドレス	192.168.10.20 172.16.5.30
サブネットマスク	255.255.255.0 255.255.0.0



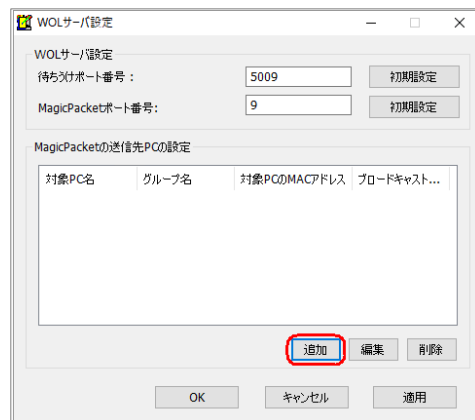
手順書を参照し、対象機器（接続先機器）の情報収集

2. 対象機器(接続先機器)のWOL起動設定

Step1 デスクトップにある「MC3000設定機能」フォルダ内の「WOLServer」アイコンをダブルクリックします。



Step2 「追加」をクリックします。



Step3

利用者情報と、利用者から集めた対象機器（接続先機器）の情報を入力します。入力する項目は以下の表を参照します。入力が完了しましたら、「設定」をクリックします。

	画面項目名	説明	要件
①	対象PC名	WOLクライアントのメインウィンドウの一覧に表示される対象PC名です。 利用者が識別可能な名称を設定します。	1文字以上の文字列(必須)
②	グループ名(任意)	WOLクライアントのメインウィンドウの一覧に表示されるグループ名を設定します。	1文字以上の文字列(任意、未入力可)
③	パスワード	利用者が遠隔起動する際に利用するパスワードを設定します。	1文字以上の文字列(必須)
④	対象PCのMACアドレス	利用者から収集した対象機器のMACアドレスを設定します。	12桁のMACアドレス(必須)
⑤	ブロードキャストのアドレス	利用者から収集した対象機器のネットワークと、MC3000のネットワークから計算したブロードキャストアドレスを設定します。	ブロードキャストアドレス(必須) 同一ネットワークセグメントの場合は「255.255.255.255」を設定します。

ワンポイント
ブロードキャストのアドレスについて

対象機器（接続先機器）とMC3000のネットワーク情報を比較して、設定するブロードキャストのアドレスを判断します。

Aのケースでは、対象機器とMC3000のIPアドレスが3番目の数字まで同一で、サブネットマスクも3番目の数字まで同一です。この場合、同一ネットワークセグメントですので「255.255.255.255」を設定します。

Bのケースでは、対象機器とMC3000のIPアドレスは3番目の数字が異なるが、サブネットマスクは3番目の数字まで同一です。この場合、異なるネットワークセグメントなので、対象機器の属しているネットワークのディレクテッドブロードキャストアドレス「192.168.1.255」を設定します。

例		機器	IPアドレス	サブネットマスク	ブロードキャストのアドレス
A	同一ネットワークセグメント	対象機器	192.168.1.1	255.255.255.0	255.255.255.255
		MC3000	192.168.1.20	255.255.255.0	
B	異なるネットワークセグメント	対象機器	192.168.1.1	255.255.255.0	192.168.1.255
		MC3000	192.168.2.20	255.255.255.0	

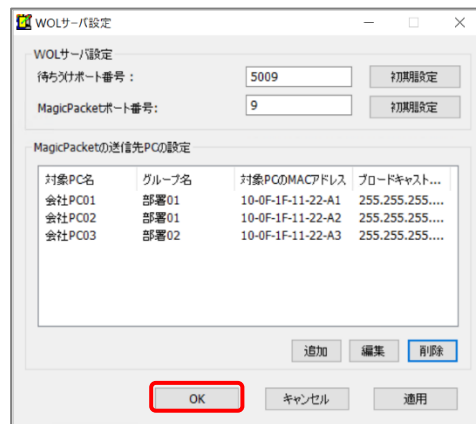
Step4

Step3 で、登録した内容が一覧に表示されることを確認します。

※ この時点では、まだ保存されていません。

登録を続ける場合は、「追加」をクリックして別の対象PCを登録をします。

登録を完了する場合は、「OK」をクリックし保存します。



3. 遠隔起動できることを確認する

Step1 利用者に、対象機器（接続先機器）の遠隔起動の設定と、遠隔起動確認を依頼します。

1. 登録した対象PC名とパスワードを通知します。
2. 「お客様サポート」ページ → 「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「[MC3000利用者マニュアル](#)」の「3. 対象機器（接続先機器）の遠隔起動設定」および「4. 対象機器（接続先機器）を遠隔起動する」の実施を依頼します。

Step2 対象機器（接続先機器）が遠隔起動できれば、作業は完了です。



ワンポイント

遠隔起動に失敗する場合は、以下の手順書を参照します。

「お客様サポート」ページ → 「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「[MC3000で対象機器を起動できない場合の原因切り分け手順](#)」

MC3000 Windowsユーザーのパスワード変更

MC3000の設定完了後、初期パスワードを安全なパスワードに変更します。

設定内容

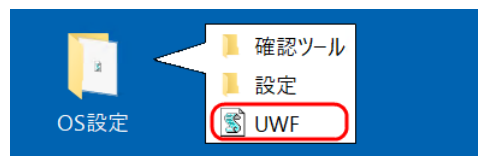
1. MC3000 Windowsユーザーのパスワードを変更する P.29

注意 MC3000管理者アカウント [admin] のパスワードが不明な場合、有償での初期化作業が必要となります。変更後はお忘れになりませんようお願いします。

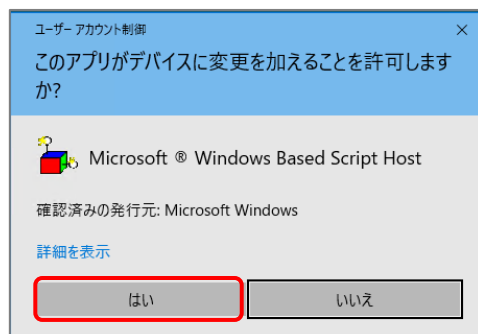
1. MC3000 Windowsユーザーのパスワードを変更する

MC3000は、書き込み保護機能(UWF)により、再起動すると変更前の状態に戻ります。(MCクライアントの設定と、WOLServerの設定を除く。)
本手順では、書き込み保護を一旦解除し、安全なパスワードに変更します。

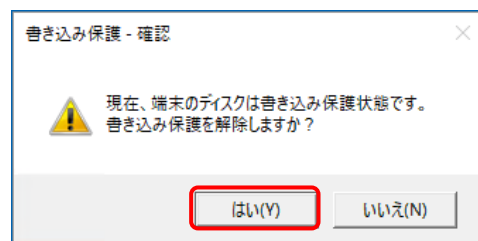
Step1 デスクトップの「OS設定」→「UWF」をダブルクリックします。



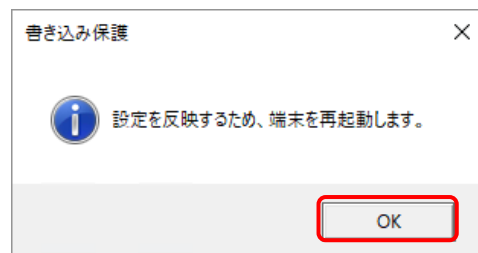
Step2 「はい」をクリックします。



Step3 「はい」をクリックして、書き込み保護を解除します。



Step4 「OK」をクリックして、再起動します。



Step5 MC3000が起動した後、パスワードを変更するユーザーでサインインします。

- ・MC3000管理者アカウント [admin]
- ・踏み台利用者アカウント [user01] ~ [user03]

変更する対象ごとに、**Step6** ~ **Step10** の手順を繰り返します。

Step6 ctrl + alt + deleteキーを押下し、Windowsセキュリティ画面を表示します。

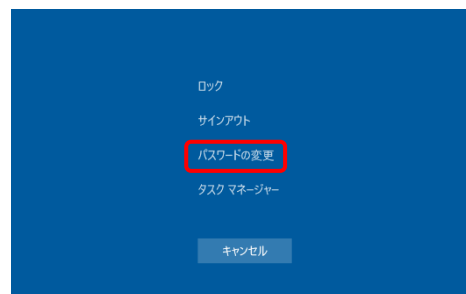


ワンポイント

リモートデスクトップ接続経由で操作している場合、ctrl + alt + end キーを押します。



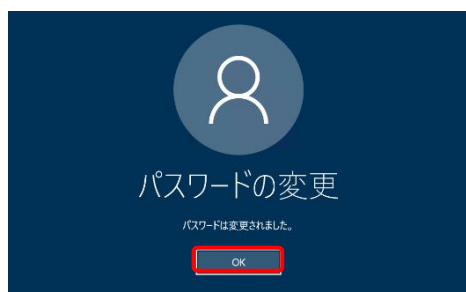
Step7 「パスワードの変更」をクリックします。



Step8 「古いパスワード」、「新しいパスワード」を入力し、「パスワードの確認入力」に再度「新しいパスワード」を入力し、矢印「→」をクリックします。

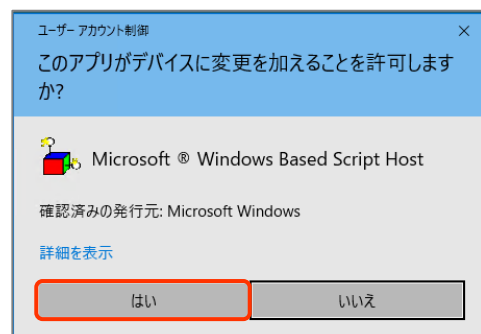
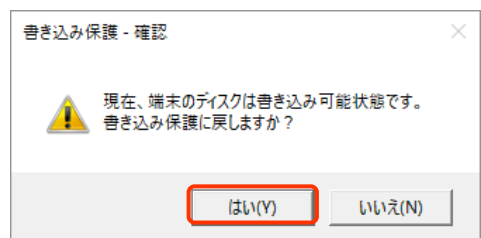
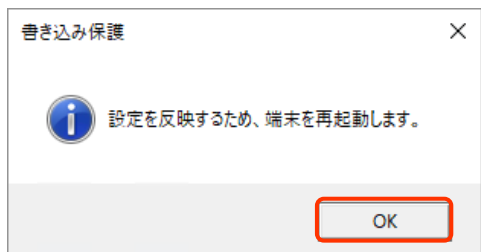


Step9 「パスワードは変更されました。」のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



Step10 MC3000を再起動します。

パスワードの変更を続ける場合は、**Step5**に戻ります。
変更を完了させる場合は、MC3000管理者アカウントでサインインします。

Step11 デスクトップの「OS設定」→「UWF」をダブルクリックします。**Step12** 「はい」をクリックします。**Step13** 「はい」をクリックして書き込み保護に戻します。**Step14** 「OK」をクリックして、再起動します。

以上で、MC3000のセットアップは完了です。

付録

セットアップまでの流れで記載できなかった内容について説明します。

設定内容

A. 対象機器(接続先機器)が遠隔起動しない場合 P. 32
B. MC3000の設定を変更する場合 P. 32
C. MC3000のシャットダウン方法 P. 32

A. 対象機器(接続先機器)が遠隔起動しない場合

対象機器（接続先機器）の遠隔起動が上手くいかない場合、以下の手順書を参照して原因を切り分けます。

「お客様サポート」ページ → 「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 →
「[MC3000で対象機器（接続先機器）を起動できない場合の原因切り分け手順](#)」

B. MC3000の設定を変更する場合

MC3000の設定変更をする場合、以下の手順書を参照します。

「お客様サポート」ページ → 「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 →
「[MC3000管理者用リファレンスマニュアル](#)」

C. MC3000のシャットダウン方法

前面パネルの「電源ボタン」を短く一度押します。しばらくすると、前面パネルの青い電源ランプが消えます。

